



# Cloud Volumes ONTAP 9.4 の既知の制限事項

## Cloud Volumes ONTAP

Ben Cammett  
February 13, 2021

This PDF was generated from [https://docs.netapp.com/ja-jp/cloud-volumes-ontap/reference\\_limitations\\_94.html](https://docs.netapp.com/ja-jp/cloud-volumes-ontap/reference_limitations_94.html) on July 08, 2021. Always check docs.netapp.com for the latest.

# 目次

Cloud Volumes ONTAP 9.4 の既知の制限事項 .....	1
一般的な制限事項 .....	1
AWS の既知の制限事項は以下のとおりです .....	2
Microsoft Azure の既知の制限事項は以下のとおりです .....	3

# Cloud Volumes ONTAP 9.4 の既知の制限事項

既知の制限事項は、このリリースの製品でサポートされていないプラットフォーム、デバイス、機能、または製品と正しく相互運用できない機能を特定します。これらの制限事項を慎重に確認してください

## 一般的な制限事項

AWS および Azure の Cloud Volumes ONTAP には次の制限があります。

ソフトウェアの更新を **Cloud Manager** で完了しておく必要があります

Cloud Volumes ONTAP のアップグレードが Cloud Manager から完了している必要があります。System Manager または CLI を使用して Cloud Volumes ONTAP をアップグレードしないでください。これを行うと、システムの安定性に影響を与える可能性

暗号化は、ブートディスクとルートディスクではサポートされていません

すべての新しいボリュームやディスクを自動的に暗号化するオプションをクラウドプロバイダから有効にした場合は、Cloud Volumes ONTAP の導入時に一時的に無効にする必要があります。インストールしないと、Cloud Volumes ONTAP の導入に失敗します。Cloud Volumes ONTAP システムのブートディスクとルートディスクでは暗号化がサポートされていません。

から **Cloud Volumes ONTAP** 環境を変更することはできません クラウドプロバイダのコンソール

クラウドプロバイダのコンソールから Cloud Volumes ONTAP 構成を変更した場合、サポートされない構成になります。Cloud Manager で作成および管理する Cloud Volumes ONTAP リソースに対する変更は、システムの安定性および Cloud Manager によるシステムの管理機能に影響を及ぼす可能性があります。

ディスクとアグリゲートは **Cloud Manager** で管理する必要があります

すべてのディスクとアグリゲートは、Cloud Manager から直接作成および削除する必要があります。これらのアクションは、別の管理ツールから実行しないでください。これにより、システムの安定性が低下し、将来ディスクを追加できなくなる可能性があります。また、クラウドプロバイダの冗長料金が発生する可能性があります。

## SnapManager のライセンスに関する制限

SnapManager のサーバ単位のライセンスは、Cloud Volumes ONTAP でサポートされます。ストレージシステム（SnapManager スイート）単位のライセンスはサポートされません。

サポートされない **ONTAP** 機能です

Cloud Volumes ONTAP では、次の機能はサポートされていません。

- アグリゲートレベルのインライン重複排除
- アグリゲートレベルのバックグラウンド重複排除

- ディスクメンテナンスセンター
- ディスク完全消去
- Fibre Channel （ FC ；ファイバチャネル）
- Flash Pool の機能です
- FlexCache
- Infinite Volume
- インターフェイスグループ
- ノード内の LIF のフェイルオーバー
- MetroCluster
- マルチテナンシー（サポートされるデータ提供用 SVM は 1 つだけ）
- NetApp Volume Encryption の略
- RAID 4 、 RAID-DP 、 RAID-TEC （ RAID 0 のサポート）
- サービスプロセッサ
- SnapLock Compliance モード（ Enterprise モードがサポートされます）
- SnapMirror Synchronous
- VLAN

## AWS の既知の制限事項は以下のとおりです

次の既知の制限事項は、AWS の Cloud Volumes ONTAP に影響します。

### Amazon CloudWatch から誤ったアラームが報告されます

Cloud Volumes ONTAP はアイドル状態のときに CPU を解放しないため、Amazon CloudWatch は使用率を 100% と認識しているため、EC2 インスタンスに対して CPU 使用率の上昇を警告します。このアラームは無視してかまいません。ONTAP statistics コマンドを実行すると、CPU の実際の使用状況が表示されます。

### Cloud Volumes ONTAP HA ペアでは、ストレージの迅速な使用はサポートされません ギブバック

ノードがリブートしたら、ストレージを戻す前に、パートナーがデータを同期する必要があります。データの再同期にかかる時間は、ノードが停止している間にクライアントが書き込んだデータの量、およびギブバックの実行中のデータの書き込み速度によって異なります。

### AWS GovCloud （米国）地域の制限

- 任意の AWS GovCloud （ US ）リージョンで Cloud Volumes ONTAP インスタンスを起動する場合は、Cloud Manager が AWS GovCloud （ US ）リージョンに導入されている必要があります。
- AWS GovCloud （ US ）リージョンに導入されている場合、Cloud Manager は、Microsoft Azure 構成用の NetApp プライベートストレージまたは SoftLayer 構成用の NetApp プライベートストレージ内の ONTAP クラスタを検出できません。

## EBS ボリュームの接続解除と再接続はサポートされていません

EBS ボリュームを Cloud Volumes ONTAP インスタンスから接続解除して別の Cloud Volumes ONTAP インスタンスに再接続することはできません。インスタンス間でデータをレプリケートするには、Cloud Manager を使用する必要があります。

## 暗号化の制限

- Cloud Volumes ONTAP 暗号化が有効になっているシステムでは、LUN の移動はサポートされません。
- Cloud Volumes ONTAP は、作成に失敗したアグリゲートの暗号化キーをキー管理ツールに送信します。

キー管理ツールからキーを手動で削除する必要があります。

## Microsoft Azure の既知の制限事項は以下のとおりです

以下に記載する既知の制限事項は、Azure の Cloud Volumes ONTAP に影響します。

### 従量課金制は、**CSP** パートナーが利用できません

マイクロソフトクラウドソリューションプロバイダー (CSP) パートナーの場合、従量課金制のサブスクリプションは CSP パートナーに提供されないため、Cloud Volumes ONTAP Explore 、 Standard 、または Premium を展開することはできません。ライセンスを購入し、Cloud Volumes ONTAP BYOL を導入する必要があります。

## Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.